

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 2 年 4 月 30 日 (2020.4.30)

【公開番号】特開 2018-164510 (P2018-164510A)
【公開日】平成 30 年 10 月 25 日 (2018.10.25)
【年通号数】公開・登録公報 2018-041
【出願番号】特願 2017-62444 (P2017-62444)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 23 日 (2020.3.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定条件の成立に基づいて識別情報の変動表示を行い、識別情報の変動表示の表示結果が特定表示結果になることに基づいて、遊技者に所定の利益を付与し得る特別遊技が実行可能となる遊技機であって、

所定の画像を表示可能な画像表示手段と、

前記画像表示手段による画像の表示を制御する表示制御手段と、

識別情報の変動表示回数を計数可能な計数手段と、

を備え、

前記表示制御手段は、少なくとも第 1 レイヤーの画像と第 2 レイヤーの画像とを重ね合わせて前記画像表示手段に表示可能であり、

前記第 1 レイヤーの画像には、所定の背景画像が含まれており、

前記第 2 レイヤーの画像には、前記計数手段により計数される識別情報の変動表示回数
を示す回数画像が含まれている

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記表示制御手段は、前記第 2 レイヤーの画像を表示または非表示とすることが可能である

ことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記表示制御手段は、識別情報の変動表示に係る変動パターンに基づいて、前記回数画像の表示態様を変化させることが可能である

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

前述の課題を解決するために、本発明は以下の構成を採用した。

(1) 手段1の遊技機は、

所定条件の成立に基づいて識別情報の変動表示を行い、識別情報の変動表示の表示結果が特定表示結果になることに基づいて、遊技者に所定の利益を付与し得る特別遊技が実行可能となる遊技機であって、

所定の画像を表示可能な画像表示手段と、

前記画像表示手段による画像の表示を制御する表示制御手段と、

識別情報の変動表示回数を計数可能な計数手段と、

を備え、

前記表示制御手段は、少なくとも第1レイヤーの画像と第2レイヤーの画像とを重ね合わせて前記画像表示手段に表示可能であり、

前記第1レイヤーの画像には、所定の背景画像が含まれており、

前記第2レイヤーの画像には、前記計数手段により計数される識別情報の変動表示回数
を示す回数画像が含まれている

ことを要旨とする。

(2) 手段2の遊技機は、手段1の遊技機において、

前記表示制御手段は、前記第2レイヤーの画像を表示または非表示とすることが可能である

ことを要旨とする。

(3) 手段3の遊技機は、手段1又は2の遊技機において、

前記表示制御手段は、識別情報の変動表示に係る変動パターンに基づいて、前記回数画像の表示態様を変化させることが可能である

ことを要旨とする。